日本語能力評価試験（JPET）
プレイスメントテストのご案内

企業や日本語教育施設の日本語を母語としない、日本語学習者対象の試験です。団体内で、日本語コミュニケーション力（聴解・読解）を評価できる手段としてご利用いただけます。

JPET®
Japanese Proficiency Evaluation Test

学校法人　駿河台学園　日本語能力評価試験協会

〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-5-8 4F
TEL：03-5577-7655　　Mail：jpet@sundai.ac.jp

ニーズにお応えします！

「弱点を発見し、日本語力強化として利用したい。」
「定期テスト、日本語クラスのレベル編成テストとして利用したい。」
「外国人社員の日本語力の確認をしたい。」
「日本語学習の意欲を高めたい。」

1、試験実施概要

① 試験内容：聴解・読解
② 実施会場：参加する学校・団体が指定する会場
③ 試験運営：会場責任者および試験監督は参加学校・団体が手配
④ 試験日程：参加する学校・団体が希望する日時で設定
⑤ 実施時間：説明時間 10 分+テスト連続 90 分（分割可）、及び答案回収時間

2、対象

日本語教育機関、大学・短大、専門学校、企業・団体の日本語学習者（国内・海外）

3、特長

① 出題と採点、得点データ入力の手間が省力化できます。
② 日本語能力の上位層から中下位層までが同じ問題を解きます。1000 点満点のシングルスケールのため、成績評価の比較が簡単です。
③ 各回の試験問題が同一レベルの出題であるため、前回からの実力伸長度が容易に把握できます。
④ 問題は実生活に即した言葉が使われ、「生活者としての日本語」コミュニケーション力が測れます。
⑤ 聴解問題、読解問題があり、11 分野から出題。多角度的に日本語力を測ることができます。
⑥ 聴解問題と読解問題の時間はほぼ 1：1、得点比率も 1：1 とバランスが良く、コミュニケーション力を重視しています。
⑦ JLPT 日本語能力試験の N1 以上、日本語ネイティブレベルまでの日本語能力を判定することが可能です。
⑧ 受験者は問題の持ち帰りおよび復習ができます。（団体様の判断で問題を回収しても構いません）
⑨ 日本語教育支援のため、試験実施にかかる費用をリーズナブルな価格に抑えています。
⑩ 実施時期は自由に設定でき、年に複数回の実施も可能です。（同一問題になることはありません）
⑪ 個人成績表、団体成績帳票はマークシート答案到着後 3 営業日でスピード返却します。
⑫ プレイスメントテストのスコアは非公式なため、大学・企業や、出入国在留管理局への提出書類として使用できません。

4、受験料（国内）

受験料は1名あたり3,500円です。

5、申込～実施の流れ（国内）

(1) 実施日の 4 週間前までに、申込書を事務局にメール添付で送信してください。

(2) 実施日の 3 週間前までに、受験者名簿（EXCEL）を事務局にメール添付で送信してください。

(3) 実施日の 2 週間前までに、受験番号を付記した名簿を事務局より返信します。請求書も併せてお送りします。

(4) 試験資材（問題冊子、解答用マークシート、正解、欠席調査用紙）を実施日 4 日前までの着荷予定で事務局から宅配で配送します。（月曜実施の場合、木曜日着）
なお、聴解テストの音源はダウンロードによるデータ配信です。

(5) 試験資材といっしょに請求書をお送りします。翌月末までに受験料の振込みをお願いします。

(6) 事前に実施マニュアルをお送りします。試験監督にあたる方々にオンライン（Zoom）により試験実施、答案処理についてご説明いたします。打ち合わせは 20 分程度です。日時は当日試験監督に当たる方が出席可能な日時を設定してください。平日の 9:00～17:30（当日の試験前も可能です）

6、実施～成績返却の流れ（国内）

(7) 試験終了後はマークシートを回収してください。受験番号のマークミス、マーク漏れの修正を行ってください。

(8) マークシートを事務局へ返送してください。（レターパック、宅配などを利用し、マークシートの破損・折れがないようにお願いします。送料はご負担ください。）

(9) マークシートの到着後、5 営業日後に個人成績表（PDF.ファイル）、成績帳票（EXCEL）をメール送信いたします。

(10) 当日の欠席者への問題と正解の配布の有無はお任せします。別日に受験させても構いませんが、本体処理をするために、(8) のマークシート答案と一緒にお送りください。後日の処理は致しかねます。

7、海外実施の場合

(1) 試験資材は国際宅配で送付します。（ただし、音源はダウンロードによるデータ送信）

(2) マークシートは、コピー複合機でスキャンしてデータ送信していただきます。（できない場合は、マークシートを事務局に国際郵便か宅配で送るか、現地のビジネスセンターでスキャンしメール送信してください。
ただし、その場合はかかった費用のご負担をお願いします。）

(3) 最少催行数は 30 名です。

(4) 受験料はお問い合わせください。現地の物価に合わせて設定しています。

Q&A

Q1：学校や企業でなくても実施が可能でしょうか。

A 1：代表の方と E-mail の連絡が可能で、試験会場が準備できる場合、希望する方が何名か集まれば実

施できます。ただし、自宅受験や試験監督責任者がいない場合などは不正防止の観点からお断りします。

Q2：海外実施の場合、時差の考慮が必要でしょうか。

A2：現地の都合の良い時間で構いません。ただし、Zoom の事前の試験監督打ち合わせは日本時間でお願いします。

Q3：当日、欠席がいた場合の処理を教えてください。

A3：マークシート答案と一緒に欠席調査用紙を同封してください。団体様の判断で後日実施も可能ですが、本体処理のためには、マークシート答案は一緒にお送りください。別々の送付では成績処理は致しかねます。ただし、後日実施の場合は、問題の漏洩も考えられます。その点も考慮してご判断ください。

残問題を欠席者に渡すことは団体様のご判断にお任せします。

受験料は申込人数でご請求しますので欠席者分のご返金はありません。

Q4：受験人数の変更はどうすれば良いでしょうか。

A4：申し込みから人数が増減しても大丈夫ですが、受験者名簿を事務局に送った時点で確定となり、受験者名簿記載の人数でご請求いたします。問題の手配上、受験者名簿の提出後の変更はお受けできません。

Q5：請求書、振込日について教えてください。また、領収書は発行されますか。

A5：請求書はご提出いただいた受験者名簿記載の人数に基づいて発行いたします。請求書到着の翌月末までに指定の銀行口座に振込みをお願いします。（振込手数料はご負担ください。）

領収書が必要な場合はご連絡ください。発行いたします。

Q6：試験監督は何名必要でしょうか。

A6：教室単位につき最低 1 名を配置してください。さらに、全体をみる監督リーダーを会場ごとに 1 名配置してください。何か問題が生じた際には、日本語能力評価試験協会と連絡を取り合うなどの動きが取れるようにしておいてください。

Q7：聴解テストの音源は試験教室でどのように再生するのでしょうか。

A7：聴解テストの音源はダウンロードによるデータ配信といたします。各教室、会議室等のプレイヤーを持ち込んで音源を再生する方式、または館内の放送方式などをご検討ください。なお、ＰＣから直接音源を再生するのは、音質が悪いため推奨いたしません。その場合は外部スピーカーを接続してください。

Q8：聴解と読解を別の時間帯で実施しても良いでしょうか。

A8：本試験のＪＰＥＴでは聴解と読解は連続した 90 分間で行われます。聴解は前後 45 分（プラスマイナス数十秒あり）、読解は残りの時間の約 45 分です。別々に行った場合は、この時間を微調整してください。団体様が試験時間を長短することは構いません。団体様内で統一が取れていれば問題ありませんが、本番とは明らかに得点差が生じることを理解し、受験生にもご説明ください。

ＪＰＥＴは即答力もふだん使いのコミュニケーション力と考えています。読解の時間を長くした場合は得点が上がる受験生が出てきますのでご留意ください。

Q9：試験問題を他に使用しても良いでしょうか。

A９：試験問題の流用（コピーや他団体への配布）はご遠慮ください。著作権は当事務局にございます。

Q10：年間で複数回実施した場合、問題の重複はありませんか。

A10：重複はございません。事務局で重複が無いよう管理いたします。ただし、敢えて学年比較のため、前年度に使用した問題と同じ問題を次の学年で実施したい場合、申し込みの際にお申し出いただきますとそのようにさせていただきます。

Q11：年間で複数回実施した場合、料金の割引はありますか。また、紙の試験でなく、スマホやタブレットを使ってできないのでしょうか。

A11：複数回受験による割引はございません。実施頻度を多くしたい場合は、当事務局が提供する ESS 日本語能力教育支援システムの方が料金的にも安価になります。スマホ、タブレットを使用したＷＥＢテストの実施が可能です。お問い合わせください。

Q12：JPETの過去問題でなく、自分たちのオリジナル問題でも実施したいが可能ですか。

A12：ESS 日本語能力教育支援システムではオリジナル問題を組み込んだ試験実施が可能です。レベル別、分野別、出題問題量の調整が可能となります。お問い合わせください。

Q13：プレイスメントテストを受験した学生は、本試験の JPET の受験料割引がありますか。

A13：JPET の受験料割引はありません。
受験者はプレイスメントテストで慣れていますので、本試験の JPET で高得点が期待できます。

Q14：プレイスメントテストのスコアで JLPT の級との相関や CEFR 基準との相関は測れますか。

A14：はい。可能です。JPET では受験者のスコアと JLPT の級、CEFR のＣan-do を分析しています。
パンフレットのｐ5,6 かＨＰをご覧ください。
https://www.jpet-sundai.jp/chara.html

Q15：事前に問題サンプルをみたい。

A15：JPET の HP に問題１回分が掲載され、音源データが再生できます。
https://www.jpet-sundai.jp/challenge.html

Q16：公式スコアが出る本試験を公開会場でなく、学校内で実施したいが可能ですか。

A16：JPET では公開会場で受験した方の成績のみを公式スコアとして取り扱います。大学等や企業等への提出書類として必要な場合は、試験日・会場を確認して JPET をお申し込みください。
https://www.jpet-sundai.jp/sche.html

【お申込み連絡先】

JPET　日本語能力評価試験協会
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-5-8 4F
TEL：03-5577-7655
Mail：jpet@sundai.ac.jp
HP：https://www.jpet-sundai.jp/
ESS 日本語能力教育支援システムのご案内：https://satt.jp/product/jpet/index.html